



秋の叙勲 栄えある受章 おめでとうございます

きょくじつたんこうしょう
旭日単光章

【中小企業振興功労】横山孝明さん



令和7年11月3日付けで発表された「秋の叙勲」で、元甘楽町商工会会長横山孝明さんが旭日単光章を受章されました。

◇主な経歴

鑄造製品の研磨技術を基盤に事業を展開し、ものづくりの品質向上に長年取り組まれました。商工会では平成3年から理事、工業部長、副会長を歴任し、平成27年からは第8代会長として3期9年にわたり地域経済の発展をけん引されました。創業支援や販路拡大、各種イベントの開催など、町内事業者の振興に尽力された功績が認められました。

◇喜びの声

このたびの受章は身に余る光栄であり、長年支えてくれた家族や関係者の皆さまの協力に感謝しています。地元の事業所が少しでも元気になってほしい一念で活動してきました。これまでの歩みへのご褒美として天皇陛下に拝謁できたことは一生の思い出です。

地産地消の魅力を知る

町では、学校給食に町内で生産された有機野菜を含めた地元野菜を数多く使用しており、生産者と学校給食センターの栄養士が各小中学校を訪問し、地産地消への理解を深める活動を行っています。

「有機農業の日(12月8日)」にちなんだ学校給食が提供された12月8日、生産者の強矢義和さん(白倉)と学校給食センターの栄養士の反町紀子さんが新屋小学校の3年松組で特別授業を行いました。

強矢さんが育てた大豆を手にした児童たちは、殻をむいて豆を取り出し、その感触を確かめながら生産の様子を身近に感じました。質問の時間には児童から「大豆を育てるときに大変なことは」との問いかけに、強矢さんは「農薬を使わずに育てるのは手間がかかるけれど、体によい野菜を届けたい」と話しました。

生産者の話を聞いた篠崎颯さんは「給食がもっと楽しみのになった」と感想を話しました。



強矢さんの話を熱心に聞く児童たち

有機農業の日 (オーガニックデイ)

有機農業推進法の成立・施行から10周年を記念して、2016年に制定されました。町では有機野菜を使った給食を通して、農業の多様性や自然環境の大切さを学んでいます。



12月8日の献立
(みそスチュー・とうのいものみそがらめ・きくいものナムル)

黄 綬褒章を受章 かわらふき工 新井さん

令和7年秋の褒章で、かわらふき工として長年にわたり業務に精励し、後進の育成にも力を注ぐなど業界の発展に寄与した功績が認められ、新井正人さん(福島)が黄綬褒章を受章しました。

新井さんは、瓦を隙間なく合わせ頑丈で美しい屋根を形成する技能や、施工の手順などを原寸大の図面に描き起こす技能に富み、職人としての確かな腕と後進を導く指導力を兼ね備えています。昨年には、厚生労働大臣による「卓越した技能者(現代の名工)」にも選ばれており、今回の受章はその長年の努力と人材育成への尽力が評価されたものです。

新井さんは「大変光栄な賞でうれしい。これからも若い世代に技術を伝えていきたい。技を受け継ぐ人がさらに育っていくことを願っています」と話しました。



長 谷川さんの100歳を慶祝

長谷川つねさん(大正14年11月22日・小幡)が100歳の誕生日を迎えられ、11月22日に森平町長が特別養護老人ホームシルク(白倉)を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

長谷川さんは轟の生まれで、ご主人と結婚後は養蚕やこんにゃくづくりに励まれました。好きな食べ物はごはんとおしんこで、趣味は大正琴やカラオケ、民謡などで音楽に親しみながら笑顔の絶えない毎日を送っています。

長寿の秘訣は「おいしいものをお腹いっぱい食べること」。現在は施設の食事を楽しみに、穏やかな日々を過ごされています。



犯 罪や非行からの立ち直り支援に尽力

第70回群馬県更生保護大会が11月13日、桐生市市民文化会館で開かれ、犯罪や非行をした人の社会復帰を支援し、安全安心な社会づくりに功労のあった皆さんが表彰されました。

(●保護司 ◆更生保護女性会)

- | | |
|--------------------|-------------|
| ●全国保護司連盟理事長表彰 | 横尾淳一さん(金井) |
| ●関東地方更生保護委員会委員長表彰 | 白石豊樹さん(善慶寺) |
| ◆関東地方更生保護委員会委員長感謝状 | 黛 智恵子さん(白倉) |
| ●関東地方保護司連盟会長表彰 | 小安和順さん(白倉) |
| ◆前橋保護観察所長感謝状 | 中嶋信子さん(造石) |
| ◆群馬県更生保護女性連盟会長表彰 | 齊藤君代さん(福島) |
| ◆ | 遠田和美さん(国峰) |
| ◆ | 山崎公子さん(庭谷) |



後列左から 横尾淳一さん、森平町長、白石豊樹さん、小安和順さん
前列左から 中嶋信子さん、山崎公子さん、齊藤君代さん

甘 楽中男子駅伝部 関東大会で9位！



後列左から 矢尻達也教諭、佐俣孝誠さん(3年)、井澤虎太郎さん(3年)、中嶋晟唯さん(3年)、大工原才雅さん(3年)、中野恭介教諭
前列左から 近藤教育長、富田一誠さん(3年)、山口泰河さん(3年)、森平町長、新井遥人さん(3年)、松野快音さん(3年)、増田教育課長

第34回関東中学校駅伝競走大会が11月30日に渋川市総合公園瑞穂建設スタジアムで開かれ、甘楽中学校男子駅伝部が出場しました。

1都7県を代表する33の強豪校が集まった大会で、選手は全力で自分の走りを見せ、9位(6区間16.7km・55分43秒)と健闘し、アンカーの井澤さんは6区を1位(2.75km・8分46秒)で走り、区間賞を獲得しました。

また、大会前には、大会出場報告会が役場で開かれ(左写真)、一人ひとり力強い決意を述べました。

環 境美化活動で町をきれいに 歩こう会

甘楽町歩こう会(茂原美代子会長)は12月7日、町内のごみ拾いによる環境美化活動を行いました。

平成10年の発足以来、今年で28回目となる取り組みで、約60人の会員が清掃活動を実施し、ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻などを回収しました。

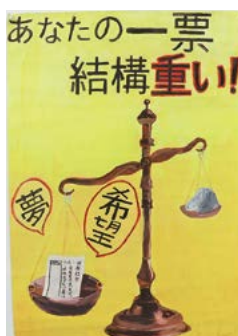
茂原会長は「日頃歩いている道をきれいにできるのがうれしい。感謝の気持ちを込めてごみ拾いをしました」と話しました。



明 るい選挙ポスターコンクールで優秀賞

若い世代に選挙や政治への関心を高めてもらうことを目的に、公益財団法人明るい選挙推進協会と群馬県選挙管理委員会連合会が主催する「令和7年度群馬県明るい選挙ポスターコンクール」で、茂木里桜さん(小幡小・6年)が優秀賞を受賞しました。

県内から寄せられた706点の作品の中から選ばれ、11月29日に群馬県庁で行われた表彰式には入賞者が集まり、作品も展示されました。



実りを味わう 蕎麦づくり入門の集大成

「蕎麦づくり入門」の収穫体験が11月16日、秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里で行われ、約130人のオーナーが参加しました。

一部の畑ではシカによる食害もみられましたが、今年も順調に実をつけました。

オーナーの皆さんは、それぞれの畑でそばの実を刈り取り、足踏み脱穀機で脱穀した後、ふるいを使って3回にわたり選別を行い、最後に袋詰めまでの工程を仕上げました。



丁寧にふるいをかける参加者



協力しながら蕎麦打ち工程を楽しむ参加者

「蕎麦づくり入門」の締めくくりとなる蕎麦打ち体験は12月12日から14日、那須庵で行われました。

約150人のオーナーが、種から育てた粉を使い、那須庵を運営する地域おこし協力隊の山本貴秋さんから指導を受けながら蕎麦打ちに挑戦しました。

参加者は自分で打った蕎麦を食べ、打ちたて、ゆでたてならではの香りや喉ごしを楽しみました。

令和7年度の「蕎麦づくり入門」も蕎麦打ち体験をもって終了となります。種まきから蕎麦打ちまで全ての工程に参加したオーナーにはこの日、「名人認定書」が贈られました。

人権ポスターコンテストで入賞

人権について理解を深めるための第22回人権ポスターコンテスト(富岡人権擁護委員協議会・前橋地方法務局富岡支局主催)が開かれ、甘楽郡・富岡市・上野村の小学5年生を対象に353点の応募がありました。

12月6日に富岡市生涯学習センターで入賞者の表彰式が行われ、作品も展示されました。町内の小学生の作品は、1月16日から1月25日まで町文化会館で展示されますので、ぜひご覧ください。町の入賞者は次のとおりです。



吉田さん(左)と菊池さん



◇甘楽町長賞
菊池梨心さん(小幡小)



◇甘楽町教育長賞
吉田咲太さん(新屋小)

新屋地区で熱戦 グラウンドゴルフ大会

新屋地区生涯学習推進協議会(萩原一章会長)主催のグラウンドゴルフ大会が11月15日、甘楽ふれあいの丘陵上競技場で開催され、22区から28区までの7地区から総勢94人が参加し、地区対抗でプレーを楽しみました。

選手たちはチームの優勝とホールインワンを目指して熱戦を繰り広げました。

上位成績は次のとおりです。

団体の部	
優勝	25区
準優勝	27区
第3位	24区

個人の部 ※敬称略	
優勝	山崎博久(25区)
準優勝	堀口 博(24区)
第3位	鈴木美佐男(28区)



仲間の声援を受けながらプレーする参加者

スポーツで交流 混合バレーボール大会初開催

スポーツを通じて交流の輪を広げようと、町バレーボール協会(牛木義会長)は第1回混合バレーボール大会を11月16日、甘楽町体育館で開催しました。

町内外の15歳から67歳までの老若男女47人が参加し、チームメンバーと声を掛け合いながら爽やかな汗を流しました。

6チームによる総当たり戦の結果、福島地区のメンバーで構成された「大竹組」が見事優勝しました。



優勝した大竹組の皆さん

花で町を明るく コンテナガーデン

町生活改善グループ連絡協議会(新井文江会長・はこべの会)の会員が12月10日、町内施設に設置しているプランターに花の苗の植え替え作業を行いました。

今回は、冬を鮮やかに彩るハボタンやパンジーを寄せ植えし、合計17鉢を道の駅甘楽や甘楽ふるさと館など9カ所に届けました。

会長は「花を見ると自然と笑顔になります。皆さんが新しい年を気持ちよく迎えられるように心を込めて植え替えました」と話されました。



生活改善グループの皆さん

秋の自然でのびのび遊ぶ

子どもが自分の責任で自由に遊ぶことを大切にする「プレーパーク」が11月22日、甘楽総合公園で開かれました。約150人の親子が参加し、落ち葉やどんぐりなどを使った工作や段ボールで家をつくる体験を通して子どもたちは自由に遊びを楽しみました。

この活動は、NPO法人みんなのおうえん団(轟田あずさ代表)が主体となって実施しており、町内では今回初めて開催されました。轟田さんは「多くの親子に参加してもらい、とてもうれしい。これからも地域の皆さんと力を合わせて、子どもたちの成長につながる活動を続けていきたい」と話しました。

プレーパーク開催



秋の自然を楽しむ参加者と学生ボランティア

夏・秋 連続で関東大会出場 あすなるジュニア

県小学生総体バレーボール競技会兼県スポーツ少年団秋季バレーボール大会の決勝リーグが11月2日に高崎市榛名体育館で開催され、あすなるジュニア(池田多春監督)は準優勝し、11月22日・23日に埼玉県熊谷市ほかで開催された関東大会に出場をしました。同チームは夏に続いて連続での関東大会出場となりました。

廣澤芽依主将は「夏と秋続けて関東大会に出場することができてうれしいです。この1年、県内外たくさんのチームと試合をさせていただき、とても良い経験となりました。大会関係者、指導者、すべての関係者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」と話してくれました。



県大会で準優勝を果たしたあすなるジュニア

紅葉とグルメを楽しむ 第12回もみじウオーク

第12回甘楽もみじウオークが11月30日、道の駅甘楽南側の小幡公園を発着点に開かれました。

基本コース(8km)と初心者コース(5km)が設定され、町内外から約1,000人が参加しました。

秋晴れの下、紅葉が彩る景色を楽しみながら「どど実タルト」や「なめこ汁」で食欲の秋も満喫しました。



紅葉が美しい紅葉山を歩く参加者